

審査意見(一次審査)への対応を記載した書類

【私部 08 白梅学園大学】

<全体について>

- ① 「学科等の目的・性格と免許状との相当関係に関する審査基準」（平成 23 年 1 月 20 日課程認定委員会決定）（手引 P 1 6 5 参照）の 1. ①に関し、今回の申請学科の学位分野、教育研究分野と認定を受けようとする免許状との間の相当関係について、申請書類から判然としないため、これについて明らかにされたい。

また、これを踏まえ様式第 7 号等において、関連科目を示したうえで当該学科で中一種免（国語）の教員養成を行う意義、目的等を明確にすること。

(対応)→	国語に関する専門的学びを深めるため「教科に関する専門的事項」に選択科目「国語科教材研究Ⅰ」「国語科教材研究Ⅱ」を設置した。 「国語科教材研究Ⅰ」は現代文の教材についての研究や実践的な力を身に付ける科目としており、現代文についての業績がある鬼頭教員が主に担当する。「国語科教材研究Ⅱ」は古文・漢文の教材についての研究や授業を構想する力を養い身に付ける科目としており、古文・漢文のついでに業績がある咲本教員が主に担当する。「国語科教材研究Ⅰ」「国語科教材研究Ⅱ」とともに実務家教員である三藤教員がカリキュラムマネジメントやICTの活用についての講義を担当する。 教養科目において「文学とメディア」を設置しているが、さらに新規に「言語と文化」を設置、関連科目として専門教育課程に選択科目「言語発達学」を新規に設置した。 様式第7号アに教員養成を行う意義、目的を追記し明確にした。 (p1、10-14、40、43-68、127-134、146-147)
-------	---